

■米国：エネルギー省、地熱発電新技術の R&D に約 3.4 億ドルを助成

エネルギー省（DOE）は 2009 年 10 月 29 日、景気回復・再投資法の予算から約 3.4 億ドルを地熱発電新技術の研究開発のために助成することを公表した。今回助成されるのは 39 州で実施される 123 プロジェクトとなっている。これらのプロジェクトは連邦政府からの約 3.4 億ドル助成金に加え、民間および州政府など連邦政府以外の基金から約 3.5 億ドルが充当されて進められる。これらのプロジェクトには、「高温岩体（Hot Dry Rock）」を利用した「改良地熱発電システム（EGS：Enhanced Geothermal System）」が含まれている。この EGS は、地熱貯留層に存在する熱水を利用して従来からの発電方式とは異なり、地下水などが流れていない高温の岩体に人工的に水を圧入して、この岩体の熱エネルギーを抽出することにより発電するものである。EGS が技術的に成熟すれば、これまで未回収の地熱エネルギーの発電利用が可能となることから、DOE は 2050 年までに約 1 億 kW の地熱設備を導入することも可能と見ている。